

コンピュータ演習 (Seminar for Computer)						
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当	
情報電子	必修	1年後	1	演習	杉村敦彦 柳澤秀明	
<b>【授業の概要】</b> コンピュータ・リテラシーや、情報リテラシーについて学ぶ。内容としては、ワープロ、表計算のアプリケーションソフトの操作方法、PC-UNIX と Windows 間のデータのやりとり、ネットワークを介したデータの転送について学ぶ。また、HTML 言語を使用したウェブページの作成についても学ぶ。さらに、LEGO ブロックを用いたロボットの製作や制御、パソコンの組み立て・OS のインストールを通して知識を深める。						
<b>【授業の進め方】</b> 前半は、教室での講義と、情報処理センターでの演習を行う。授業前半で講義や解説を行い、授業後半に情報処理センターに移動して演習を行う。LEGO ブロックを用いたロボットの製作・制御では、複数回の授業時間を用いる。パソコンの組み立て・OS のインストールは、班単位で複数回の授業・実習を行う。演習結果の提出や、課題の完成度により理解度を確認する。						
【授業の概要】	【授業項目】			【内容】		
1回	ワープロ・表計算			Windows の起動とログインについて説明する。Word、Excel を用いた文章作成、表計算について説明する。		
2回	演習			Word、Excel を用いた文章作成、表計算について演習を行う。(演習結果提出)		
3回	文章清書システム			コマンドによって文章を整形する LaTeX について説明する。		
4回	演習			LaTeX を用いた文章作成について演習を行う。(演習結果提出)		
5回	データ転送			Windows と FreeBSD 間のデータのやりとりや、ネットワーク、電子メールを用いたデータの転送について説明し、演習を行う。(演習結果提出)		
6回	Web			Web の歴史や仕組みについて学ぶ。また HTML 言語についても、その基本的なことについて学ぶ。		
7回	演習			HTML 言語を用いたウェブページの作成について演習を行う。(演習結果提出)		
8回	プログラムによるロボットの制御 [ 課題 1 ]			LEGO ロボットで製作したロボットを制御する仕組みを学ぶ。コンテストについての説明を行う。		
9回	演習			LEGO ロボットのハードウェアを製作する。		
10回	演習			LEGO ロボットのソフトウェアを作製する。		
11回	コンテスト			コンテストを行う。		
12回	パソコンの組み立て [ 課題 2 ]			班分けを行い、班単位でパソコンを組み立てる実習を行う。		
13回	実習			パソコンの組み立てる実習を行う。		
14回	実習			組み立てたパソコンに Linux をインストールし、動作を確認する。		
15回	実習			組み立てたパソコンを解体する。		
【到達目標】	情報リテラシーを学ぶことにより、コンピュータで情報を取り扱う技術を身につける。また、実際にプログラムで制御できる LEGO ロボットの製作・制御、パソコンの組み立て・OS のインストールを通してコンピュータ・リテラシーを身につける。					
【徳山高専学習・教育目標】	B1		【J A B E E 基準 1(1)】			
【評価法】	提出された演習結果(各10点×4) 課題(各30点×2)で評価する。					
【テキスト】	九州工業大学情報科学センター編「インターネット時代のフリー UNIX 入門」(朝倉書店)					
【関連科目】	コンピュータの基礎知識(1年)					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】